

Mあ〜ろんど No.5

2002年1月30日 発行



〜マロ・コンソートによせて〜

コンソートCONSORT (英) は『仲間』という意味です。
私を入れて351人がお互いに私たちの『仲間』なのです。

マジメに。(取り組む姿勢はいつもこうありたいものです) **ロ**マンをもって。

(“歌”を唱うのですからロマンがなくちゃ) **コン**きよく。(求めるものが大きい

から……) **ソー**かいさを演出して。(聴き手に何かを残すとすれば“さわやかさ”

ですね) **ト**ナリティ《Tonality…調性》のある(目的のはっきりした調和のとれた)

“集まり”にしたいものです。

吉田孝在 賛

※ 上記の文章は1986年(16年前)第12回マロ・コンソートのプログラムにのせたものです。最近新しい団体と“仲間”が増えましたので、再び『マロ・コンソート』の基調文として掲載させていただきました。

トピックス

※「マロ・コンソート」の定例会開催

昨年の9月29日、吉田先生が指導する12の合唱団の代表が出席して、マロ・コンソートの定例会が開かれました。各合唱団から現況の報告と活動計画の紹介があった後、吉田先生の指揮者生活50周年(2004年)の記念行事などについて意見が交換されました。記念行事については、本誌の2・3号に掲載されたようにいろいろなアイデアがありますが、クール・コメール、クール・ヴァン・ヴェール、アンサンブル・プリュサン、横浜混声合唱団、洋光台混声合唱団で構成する実行委員会で、さらに検討を進めることになりました。

※吉田先生「音楽総監督」ご苦労様でした

吉田先生が音楽総監督を務められた、県主催「2001年記念音楽祭」(いっしょに歌おう かながわのうた)

が、県民大ホールで昨年の12月2日に行われました。

※吉田先生「神奈川合唱指揮者クラブ」会長に就任

神奈川県下で合唱指導に携わっている人たち92名によって「神奈川合唱指揮者クラブ」が結成されました。2001年12月10日に発会式が行われ、吉田先生が初代の会長に就任されました。

公私共々ますますのご活躍をお祈りいたします。

※「マロ・コンソート」11団体に

私たちの仲間のお姉さん役として活躍された「シャン・クール」が、指導スタッフの交代により「マロ・コンソート」から抜けることになりました。

今後「マロ・コンソート」は11団体で運営されます。「シャン・クール」のご発展をお祈りいたします。

私たちの今年 は …

マロ・コンソートの各合唱団に、新しい年の活動の計画と、仲間の皆さんに伝えたいことを寄せていただきました。今年も、いろいろな場面で歌う、あつ〜い活動が展開されます。

■ 2002年の活動計画

月	日	団 名	活 動 内 容
1	19	ヌオーヴァ女声合唱団	ヌオーヴァ合唱コンサート 8 (みなとみらい小ホール) 開催
2	10	クール・ヴァン・ヴェール 洋光台混声合唱団	第22回ヨコハマ・コーラルフェスト (みなとみらい大ホール) 出演 "
	13	アンサンブル・プリュサン	県下精神病院コーラスコンクールに模範演奏団体としてボランティア 出演 (県立音楽堂)
	17	女声合唱団「まほろば」 クライネ・シャッツ	県連合唱フェスティバル (県立音楽堂) 出演 "
	24	梅田 (小) マミー・コール	湘南合唱交流会 (茅ヶ崎市民文化会館大ホール) 出演
3	2	クール・コメール	The 11th concert "f" (茅ヶ崎市民文化会館) 開催
5	19	梅田 (小) マミー・コール	35周年記念コンサート (茅ヶ崎市民文化会館小ホール) 開催
6	8	アンサンブル・プラムベリー	第45回県合唱祭 (県立音楽堂) 出演
		クール・ヴァン・ヴェール	"
		ヌオーヴァ女声合唱団	"
		洋光台混声合唱団	"
	9	横浜混声合唱団 アンサンブル・プリュサン 女声合唱団「まほろば」 クライネ・シャッツ	" " " "
10	8	アンサンブル・プラムベリー	音楽堂 おかあさんコーラス (県立音楽堂) 出演
	11	アンサンブル・プリュサン	"
	19	洋光台混声合唱団	第18回洋光台音楽のつどい
11	14	梅田 (小) マミー・コール クール・コメール アンサンブル・プラムベリー	茅ヶ崎市文化祭「合唱の集い」(茅ヶ崎市民文化会館大ホール) 出演 " "
	19	女声合唱団「まほろば」	第8回県連「ヴィサン」ジョイントコーラスフェスティバル出演
	24	神奈川県庁合唱団	第27回サロンコンサート (みなとみらい小ホール) 開催
12	8	横浜混声合唱団	第12回オフオフ合唱コンサート“ちょっと早めのクリスマスⅡ” 開催
		クライネ・シャッツ	"
	20	梅田 (小) マミー・コール	第9回「かあさん・と・こんさあと」(茅ヶ崎市青少年会館ホール) 開催

■ 伝えたいこと (掲示板)

♪クール・コメール

ここ数年で団員が13名増えました。カンバック組が多数に30代の新人さんもいて、練習も大変活気があり、出席率も高いです。3/2(土)のコンサートでは神奈川の作曲家展で、大田桜子氏の曲を演奏します。

♪クール・ヴァン・ヴェール

団員を募集しています。宗教曲からポップスまで幅広く歌ってみたい方、いつでも見学にお出でください。次回のコンサートのポップス部門では、前回の好評に気を良くして、またまた映画音楽で〜す。

♪梅田小学校マミーコール

お陰様で35周年を迎えます。5月19日(日)の記念コンサート(入場無料)には、ぜひ皆さんでいらして客席で応援してください。お待ちしております。

♪ヌオーヴァ女声合唱団

過日突然に「ヌオーヴァ合唱コンサート 8」のチラシをマロ・コンソートの各団にお送りさせていただきました。本来ならばお伺いしお願いすべきところですが、大変失礼いたしました。ご協力ありがとうございました。

♪アンサンブル・プリュサン

プリュサンのコンサート時のゲスト・ピアニスト金井信氏のコンサートが次のとおり行なわれます。「ラヴリーナイト・クリスマス スペシャル」リコーダーデュオ:柳沢里美・久美
ピ ア ノ:金井 信
2002.12.25(水) 19:00 横浜みなとみらい小ホール

♪女声合唱団「まほろば」

マロ・コンの中で唯一、シニアだけのぐるーぷです。今回は「花」をテーマのコンサート。月曜日14:00-16:00の練習は、いつでも見学OKです。

♪横浜混声合唱団

メサイアの男声パートを募集中!
「あなたも《メサイア》を試してメサイア」

♪洋光台混声合唱団

「マロコン・メーリングリスト」へのお誘い
昨年10月から「マロコン・メーリングリスト」(主催者:洋光台合唱団 鈴木章司)が開設されています。パソコン・eメール上で、マロコンメンバー同志が情報交換・おしゃべりを楽しむ場です。Mあグループの団員・指導者の方、奮ってご参加ください。
参加方法:下記のアドレスにメールをお送りください。折り返し参加案内メールを差し上げます。
syoji_san@hotmail.com (_は、アンダーバーです)

♪神奈川県庁合唱団

今年も11月19日に、みなとみらい小ホールでサロンコンサートを行います。ぜひお越しください。

♪混声合唱団クライネ・シャッツ

団員を募集しています。混声合唱を歌いたい方は、見学に来てください。木曜日の18:00-20:00 大原ホールで楽しく練習しています。
2回目のコンサートは、来年春の予定です。

先生方の今年は...

いつも厳しい中にも暖かさのあふれたご指導をいただき、マロ・コンソートのメンバーに歌うことの楽しさを教えてくださる先生方からも、お便りをいただきました。

♪岩谷尚幸

3月17日(日) 18:30から、横浜美術館のレクチャーホールで、4回目の独奏会(リサイタル)を行ないます。どうぞご来場ください。(¥2,000)

♪枝野朝子

2/8 現代音楽劇「責めありや? 責めなきや」に出演。19:00 東京文化会館小ホール
(第2回東京文化会館舞台芸術創作作品優秀賞受賞 記念上演)
3/10 栃木県二宮の「第九」演奏会にアルトソロで出演
3/16 上野の旧奏楽堂でリサイタル
4月頃 芸大奏楽堂で第2回博士リサイタル

♪金子雅代

1/20 平塚クラシックオーディション合格者による「ニューイヤーコンサート」
平塚市民センター
3/27 国際芸術連盟主催「ジョイントコンサート」
墨田トリフォニーホール

♪吉泉和子

宝塚OBが毎年お手伝いをしている「ピースハウス」(平塚にあるホスピス)のチャリティコンサートが、5月初旬に鶴見会館で予定されています。3月頃には出演者その他詳細が決まりますので、ご協力くださる方は吉泉までご連絡ください。(TEL/FAX 045-921-8163)

♪川上勝功

1/22 東京室内歌劇場メンバーズコンサート
18:00日本橋公会堂
5/20 二期会50周年記念ドイツ歌曲の夕べ
18:30サントリーホール 小ホール
8/3~10 世界合唱シンポジウム ミネアポリス
8/25 勝声会 コンサート
17:30みなとみらいホール 小ホール
9/22 アンサンブル・ホフヌング リサイタル
14:00みなとみらいホール 小ホール

3年に1度開催される世界合唱シンポジウムが、アメリカのミネソタ州ミネアポリスで開かれます。私はシドニー、ロッテルダムについて3度目の参加になります。世界中の超一流の合唱団が一堂に会し、約一週間に亘り演奏会や講習会そして色々なセッションが行なわれます。皆さんの奮っての参加をお勧めします。

♪平林留貴子

1/19 ヌオーヴァ合唱コンサート 8
14:00 みなとみらいホール 小ホール

♪篠崎義昭

今年はカルミナ・ブラーナのソロとかがありますが、マロ先生からシャン・クール指揮を受継ぎました。マロ・コンソートの皆様のご指導とご助言をお願いいたします。

海を越えて歌った ～ 「歌の翼市民合唱団」に参加して

今年の日韓共催のFIFAワールドカップの年。これを記念し、音楽を通じた両国の理解と友好を深めるため、日韓の音楽家と市民合唱団によるガラ（祝祭）コンサートが、2000年9月と2002年1月に横浜で、2001年9月にソウルでと3回にわたって開催され、マロ・コンソートのメンバーも公募の「歌の翼市民合唱団」に参加して歌いました。特に2001年9月1日にソウルの「芸術の殿堂」で開催されたコンサートでは、吉田先生が編曲され、10回にわたってご指導くださった滝廉太郎の「花」「荒城の月」「箱根八里」の3曲を、市民合唱団が韓国のオーケストラの伴奏で歌い、また、「ふるさと」（日本語）と「懐かしい金剛山」（韓国語）を日韓の合唱団が一緒に歌いました。

この市民合唱団に参加して、海を越えて歌ったマロコンのメンバーから、その感想を寄せていただきました。

◇洋光台混声合唱団 岸 裕子

日韓合同合唱で、言葉が違っても音楽で心が一つになれるのを感じ、胸が熱くなってきました。吉田先生と一緒に韓国へ行けなかったのが残念です。

◇洋光台混声合唱団 笹間敬子

9月1日、ソウルの芸術の殿堂コンサートホールは2千人のお客を迎え、日本の「故郷」、韓国の「懐かしい金剛山」の合唱で、感激のコンサートを終えました。日韓の難しい問題の中、ここに参加することで少しでも友好と平和の一助になれたのかなと思っています。滝廉太郎は吉田先生の指揮で歌いたかった。

◇洋光台混声合唱団 佐藤幸子

韓国に入ってその日の練習で暖かい歓迎を受け、終始なごやかな雰囲気の中で本当に来て良かった、参加して良かったとの思いを得ました。本番では、ステージが進むにつれて観客の方々の思いが私たち合唱団にも伝わり、盛り上がりゆくの感動し、胸を熱くして涙しておりました。異国の地での素晴らしいステージを体験させていただきました。

◇洋光台混声合唱団 団員

日韓の仲間が手を取り合って唱った「ふるさと」「懐かしい金剛山」、そして韓国のオケと指揮での滝廉太郎のメドレー3曲。鳴り止まぬ拍手と心が通い合った満足感。その一方でふと我に返ると、主催者の都合で、せっかくご指導くださった吉田先生と本番を一緒にできなかったことが、とても残念であった。

◇横浜混声合唱団 鎌田不二

韓国の合唱団との合同ステージで、腕を組みながら唱った時は、言葉は通じなくても音楽には国境がないということを実感しました。暗譜することが大変だった韓国の歌も、今では忘れがたい一曲になり、時々思い出して口ずさんでいます。

◇混声合唱団クライネ・シャッツ 瀬川理維子

良い音楽は、命の洗濯になると言いますが、終わった後の充実感は最高でした。南大門市場でのただ値切りながらの買物はとても楽しかったです。帰りの飛行機が乱気流に入って大きく揺れ、心臓がバクバク？しましたが、無事成田着。

◇横浜混声合唱団 菊地富雄

当初は吉田先生、須江先生と一緒にソウルのステージに立てるものと思って応募しました。途中、教科書や靖国の問題が出て一時は訪韓の実現すら心配され、両国の複雑な関係について考えさせられました。レセプションで、寺田大使から「皆さんは民間外交の実をあげられました」との挨拶があり、合唱を通じて韓国人達との交流ができてよかったと思っています。

◇混声合唱団クライネ・シャッツ 池田靖代

吉田先生のご指導のもと、日韓交流コンサートに参加でき感謝しております。10回にわたる熱心なレッスンによって、韓国の大ステージで日本の歌を唱い、さらに、韓国の若手合唱団と原語で「金剛山」を合唱することができて、私の人生にとって心豊かな時を刻むことができました。

◇混声合唱団クライネ・シャッツ 小槻正幸

対日感情の厳しい最中ソウルに着く。その夜「音楽のある村」合唱団の皆さんから、本当に心温まる大歓迎を受け、感動した。本番当日、小高い丘の上の芸術の殿堂を目の当たりにして、韓国の芸術に対する力の入れようを垣間見た気がした。コンサートでは約2千人の観客の大喝采を浴び、日韓の交遊を大いに温めることができた。

◇混声合唱団クライネ・シャッツ 齊藤巳芳

教科書問題で悪化していた環境下、暖かく迎えてくれた韓国の友と、言葉の壁を越えて「懐かしい金剛山」を唱い感激と感動を実感しました。韓国の音楽の殿堂の素晴らしさ、韓国の意気込みの一端を肌で感じました。他のグループとの交流によって、K・Sを客観視できたことなど、今回の経験、この感動は生涯消えることはありません。

◇混声合唱団クライネ・シャッツ 大保雅嗣

ソウルでは、世界に通じることを目標にして実力をあげてきた「音楽のある村」合唱団と共演しました。韓国のクラシックファンは若い人が多く、平均年齢構成も日本より20年若いとのことで、町を歩いても強いバイタリティを肌で感じました。今後も音楽という世界共通語で交流を図って行く事はどんなに素晴らしい事かと強く思いました。